

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
 【部門区分】第 3 部門第 3 区分  
 【発行日】平成22年5月6日 (2010.5.6)

【公表番号】特表2010-504400(P2010-504400A)  
 【公表日】平成22年2月12日 (2010.2.12)  
 【年通号数】公開・登録公報2010-006  
 【出願番号】特願2009-529282(P2009-529282)  
 【国際特許分類】

C 0 8 G 18/32 (2006.01)

【 F I 】

C 0 8 G 18/32 B

【手続補正書】

【提出日】平成22年3月16日 (2010.3.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

鎖延長剤組成物であって、

( i ) 芳香族第一級ジアミン、および

( i i ) 下記：

( c ) 脂肪族第二級ジアミンと脂肪族第一級ジアミン、

( d ) ジイミン、および

( e ) ( c ) および ( d ) の中のいずれか 2 つ以上の組み合わせ、

から成る群より選択される成分、

を含有して成るが、但し ( i i ) が ( d ) でありかつ ( d ) が芳香族ジイミンの時には各イミノヒドロカルビルデン基が炭素原子を少なくとも 2 個有することを条件とする鎖延長剤組成物。

【請求項 2】

( i ) が 2 , 4 - ジエチル - 6 - メチル - 1 , 3 - ベンゼンジアミンと 4 , 6 - ジエチル - 2 - メチル - 1 , 3 - ベンゼンジアミンの混合物である請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】

( i i ) が脂肪族第二級ジアミンと脂肪族第一級ジアミンでありかつ前記脂肪族第一級ジアミンが下記の特徴：

ジアミンのヒドロカルビル部分が環式もしくは直鎖である；

脂肪族第一級ジアミンが炭素原子を約 4 から約 10 個有する；

の中の少なくとも 1 つを有する請求項 1 記載の組成物。

【請求項 4】

( i i ) が脂肪族第二級ジアミンと脂肪族第一級ジアミンでありかつ前記脂肪族第二級ジアミンが N , N' - ジ - ( 3 , 3 - ジメチル - 2 - ブチル ) - 1 , 6 - ジアミノヘキサン、N , N' - ジ - 2 - ( 4 - メチルペンチル ) - イソホロンジアミンまたは N , N' - ジ - ( 3 , 3 - ジメチル - 2 - ブチル ) - 3 ( 4 ) , 8 ( 9 ) - ビス - ( アミノメチル ) - トリシクロ [ 5 . 2 . 1 . 0 ( 2 , 6 ) ] デカンである請求項 1 記載の組成物。

【請求項 5】

( i i ) が環上にイミノ基を 2 個有していてイミノ基に対してオルソ位の各々がヒドロカルビル基を持つ 1 個のフェニル環の形態またはアルキレンブリッジで連結していて各環

上にイミノ基を１個ずつ有しかつイミノ基に対してオルソ位の各々がヒドロカルビル基を持つ２個のフェニル環の形態のいずれかである芳香族ジイミンである請求項１記載の組成物。

【請求項６】

ポリマーの製造方法であって、（Ａ）少なくとも１種の芳香族ポリイソシアネート、（Ｂ）少なくとも１種のポリオールおよび／または少なくとも１種のポリエーテルアミンおよび（Ｃ）

（ｉ）芳香族第一級ジアミン、および

（ｉｉ）下記：

（ｃ）脂肪族第二級ジアミンと脂肪族第一級ジアミン、

（ｄ）ジイミン、および

（ｅ）（ｃ）および（ｄ）の中のいずれか２つ以上の組み合わせ、

から成る群より選択される成分、

で構成されているが、但し（ｉｉ）が（ｄ）でありかつ（ｄ）が芳香族ジイミンの時には各イミノヒドロカルビルデン基が炭素原子を少なくとも２個有することを条件とする鎖延長剤と一緒に混合することを含んで成る方法。

【請求項７】

（ｉ）が２，４－ジエチル－６－メチル－１，３－ベンゼンジアミンと４，６－ジエチル－２－メチル－１，３－ベンゼンジアミンの混合物である請求項６記載の方法。

【請求項８】

（ｉｉ）が脂肪族第二級ジアミンと脂肪族第一級ジアミンでありかつ前記脂肪族第二級ジアミンがＮ，Ｎ’－ジ－（３，３－ジメチル－２－ブチル）－１，６－ジアミノヘキサン、Ｎ，Ｎ’－ジ－２－（４－メチルペンチル）－イソホロンジアミンまたはＮ，Ｎ’－ジ－（３，３－ジメチル－２－ブチル）－３（４），８（９）－ビス－（アミノメチル）－トリシクロ〔５．２．１．０（２，６）〕デカンである請求項６記載の方法。

【請求項９】

準プレポリマーまたはプレポリマーを工程中に生じさせる請求項６記載の方法。

【請求項１０】

ポリマーであって、（Ａ）少なくとも１種の芳香族ポリイソシアネート、（Ｂ）少なくとも１種のポリオールおよび／または少なくとも１種のポリエーテルアミンおよび（Ｃ）

（ｉ）芳香族第一級ジアミン、および

（ｉｉ）下記：

（ｃ）脂肪族第二級ジアミンと脂肪族第一級ジアミン、

（ｄ）ジイミン、および

（ｅ）（ｃ）および（ｄ）の中のいずれか２つ以上の組み合わせ、

から成る群より選択されるさらなる成分、

で構成されているが、但し（ｉｉ）が（ｄ）でありかつ（ｄ）が芳香族ジイミンの時には各イミノヒドロカルビルデン基が炭素原子を少なくとも２個有することを条件とする鎖延長剤を含有して成る材料から生じさせたポリマー。

【請求項１１】

（ｉ）が２，４－ジエチル－６－メチル－１，３－ベンゼンジアミンと４，６－ジエチル－２－メチル－１，３－ベンゼンジアミンの混合物である請求項１０記載のポリマー。

【請求項１２】

（ｉｉ）が脂肪族第二級ジアミンと脂肪族第一級ジアミンでありかつ前記脂肪族第二級ジアミンがＮ，Ｎ’－ジ－（３，３－ジメチル－２－ブチル）－１，６－ジアミノヘキサン、Ｎ，Ｎ’－ジ－２－（４－メチルペンチル）－イソホロンジアミンまたはＮ，Ｎ’－ジ－（３，３－ジメチル－２－ブチル）－３（４），８（９）－ビス－（アミノメチル）－トリシクロ〔５．２．１．０（２，６）〕デカンである請求項１０記載のポリマー。